

第341号 2013年 11月 1日  
弘前大学総務部広報・国際課

学術講演会・研究発表会・公開講座

弘前大学大学院保健学研究科 高度実践被ばく医療人材育成プロジェクト  
「放射線リスクコミュニケーション教育部門第1回講演会」開催のお知らせ

弘前大学大学院保健学研究科では、文部科学省特別経費事業「緊急被ばく医療の教育・研究体制の高度化及び実践的プログラムの開発」（平成25年度～平成29年度）を実施しております。この取り組みの一環として、原発事故に伴う福島県双葉郡川内村の現状について理解を深め、放射線リスクコミュニケーション教育の重要性と実践上の示唆を得ることを目的とし、標題の講演会を開催いたします。

1. 日時：2013年11月5日（火）18:00～19:30
2. 場所：弘前大学大学院保健学研究科  
総合研究棟6階 第24講義室
3. 対象：本学大学院保健学研究科教職員、  
本学医学部附属病院職員、県内被ばく医療施設職員、  
県内保健師、県内行政担当者、一般市民
4. 講師・講演テーマ：
  - 講演1  
福島県双葉郡川内村復興対策課課長 井出 寿一 氏  
テーマ「原発事故に伴う避難から復興の現状、職員として課題はなにか」
  - 講演2  
長崎大学 保健師 折田 真紀子 氏  
テーマ「長崎大学・川内村復興推進拠点におけるリスクコミュニケーションの展開」



5. 概要・目的：
 

川内村は全域が東京電力福島第一原子力発電所より30km圏内に位置しています。平成24年3月31日には20km圏内の警戒区域の解除に伴い、避難指示解除準備区域と居住制限区域に設定されました。事故による全村避難から約1年余りで村長による帰村宣言を発し、急ピッチで除染と復興に取り組んだ結果、帰村率は約半数に達しています。川内村職員により避難から復興の現状についてお話しいただくことで実情と対応についての理解を深め、さらに、実際に住民とリスクコミュニケーションをとっている保健師から、放射線リスクコミュニケーション教育の重要性と実践上の示唆を得ます。
6. 参加費：無 料（事前申込は不要です）
7. 主 催：弘前大学大学院保健学研究科 高度実践被ばく医療人材育成プロジェクト  
放射線リスクコミュニケーション教育部門

問い合わせ先：弘前大学大学院保健学研究科総務グループ  
TEL・FAX：0172-39-5905



## 「地熱発電国際シンポジウム in 弘前」開催のお知らせ

このたび、地域におけるエネルギーの自給率向上や安定供給、地域の活性化等を図るため、現在、地熱資源開発調査を行っている岩木山麓の地熱発電に向け、地産のエネルギー開発や熱の有効利用をめざして、海外からの最新情報を交えながら、地熱発電の可能性について議論し、理解を深めるためシンポジウムを開催することといたしました。

この機会に、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 2013年11月17日（日）13:00～17:00

2. 会 場： ホテルニューキャッスル 3階 「麗峰の間」  
(弘前市上鞆師町24-1)

3. 対 象： どなたでも参加可能  
(但し、電話での事前申込が必要です)  
定員300名(申込者多数の場合は先着順となります)

4. プログラム：

### 第1部 地熱利用先進国からの報告

#### 《特別講演》

レイキャビク・エネルギー社 自然資源研究部長 エナール・グンラーグソン博士  
バンドン工科大学地質学教室講師 アズナビル・ナスティオン博士

### 第2部 青森県の地熱発電を考える

#### 《講演》

湯沢地熱株式会社 取締役社長 中西 繁隆  
弘前大学 北日本新エネルギー研究所 所 長 村岡 洋文  
弘前大学 北日本新エネルギー研究所 准教授 井岡 聖一郎

5. 受講料：無 料

6. 主 催：弘前市

共 催：国立大学法人 弘前大学北日本新エネルギー研究所

後 援：東北経済産業局、青森県

7. 申込み：下記問い合わせ先までお申込みください。

※ 詳しくは弘前市のホームページをご覧ください。

[http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gyosei/keikaku/smart\\_jigyou/index.html#sym](http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gyosei/keikaku/smart_jigyou/index.html#sym)

**申込み・問い合わせ先：**弘前市都市環境部スマートシティ推進室  
TEL：0172-40-7109



## 白神山地世界自然遺産登録20周年記念シンポジウム開催のお知らせ

このたび、弘前大学白神自然環境研究所・弘前大学白神研究会の共催で、白神山地世界自然遺産

登録20周年記念シンポジウム「白神山地を学びなおす」を開催致します。

白神山地が世界自然遺産に登録されてから20年が経過したが、世界自然遺産にふさわしい自然の価値を今後とも保全しながら地域振興を図るために、白神山地の自然の特性やこれまでの利用と保護の歴史に基礎をおきつつ現状を把握することによって、これからの白神山地に重要な課題を考え、日本各地の情報も取り入れて今後に必要な取り組みを議論します。多数の方々のご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 2013年11月24日（日）9：00～17：00

2. 場 所： 弘前大学創立50周年記念会館 及び 総合教育棟

3. 対 象： 一般市民の方

4. プログラム：

●第Ⅰ部 全体セッション（9：00～12：00）

会 場： 創立50周年記念会館 みちのくホール

1) 世界遺産登録前の白神山地

弘前大学名誉教授 牧田 肇 氏

2) 世界自然遺産としての白神山地

東北大学大学院生命科学研究科教授、

白神山地世界自然遺産科学委員会委員長

中静 透 氏

3) 知床からの報告

斜里町立知床博物館長 山中 正実 氏

4) 屋久島からの報告

屋久島商工観光課長 松本 薫 氏

5) 四万十からの報告

公益財団法人四万十川財団事務局長 神田 修 氏

●第Ⅱ部 分科会（13：30～15：30）

会 場： 総合教育棟

1) 白神山地の今後の変動とモニタリング体制

2) 外来生物やシカとの軋轢の将来と対策

3) 保全と自然利用のあり方

●第Ⅲ部 総合討論（15：45～17：00）

会 場： 創立50周年記念会館 みちのくホール

◇展示コーナー（9：00～17：00）

会 場： 創立50周年記念会館 岩木ホール 他

白神山地の写真、研究・活動紹介のポスター、物産等を展示し、普及啓発する。

問い合わせ先： 弘前大学白神自然環境研究所

TEL：0172-39-3706、3707、3708



## 分析化学と化学分析の青森フォーラム2013 開催のお知らせ

県内の会員及び分析化学・化学分析に従事する研究者・技術者の交流を深め、情報交換を行うことを目的としています。これまで、日本分析化学会の行事に参加する機会が少なかった会員も是非ご参加ください。

1. 日 時： 2013年11月28日（木）14:30～17:00

2. 場 所： 弘前大学大学院理工学研究科 大会議室

3. 対 象： 物質の化学分析に興味をお持ちの方ならどなたでも  
(事前申込の必要なし)

4. 講 演： 【1】生体試料の高感度分析を目指した簡易操作型電気  
泳動チップの開発

弘前大学大学院理工学研究科

北川 文彦

【2】金ナノ粒子を利用した生体分子間相互作用解析法の開発

秋田大学大学院工学資源学研究所 藤原 一彦

【3】ESR法による皮膚角層脂質の構造解析

弘前大学大学院保健学研究科

中川 公一

5. 参加費： 無 料

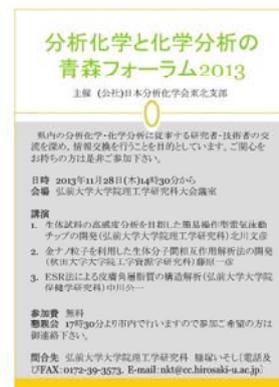
6. 主 催： (公社)日本分析化学会東北支部

7. その他： 講演会後17:30より、弘前市内で懇親会を開催しますので、参加をご希望の方は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

問い合わせ先： 弘前大学大学院理工学研究科 糠塚いそし

TEL・FAX：0172-39-3573

E-mail：nkt@cc.hirosaki-u.ac.jp



## 文部科学省「社会システム改革と研究開発の一体的推進」事業 地域再生人材創出拠点の形成 「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」 「平成25年度 第6回被ばく医療プロフェッショナルセミナー」開催のお知らせ

弘前大学「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」では、福島県相双保健福祉事務所 健康福祉副部長（兼）健康増進課長 小野 喜代子 氏をお招きし、被ばく医療プロフェッショナルセミナーを開催いたします。

1. 日 時： 2013年11月29日（金）18:00～19:00

2. 会 場： 弘前大学保健学研究科6階 第24講義室

3. 講 師： 福島県相双保健福祉事務所

健康福祉副部長（兼）健康増進課長 小野 喜代子 氏

4. 演 題： 福島県における災害時の保健師活動  
～相双保健福祉事務所における被災者健康支援活動を通して～

5. 参加料： 無 料

6. 申込み： 2013年11月28日（木）までに電話・FAX・メールのいずれかで下記問い合わせ先までお申込みください。

○メールの場合：メールの件名を「被ばくセミナー申込」とし、所属・職名・氏名を本文へ記入の上、下記メールアドレスまでお申込みください。

○電話・FAXの場合：下記電話番号またはFAX番号まで、所属・職名・氏名を添えてお申込みください。



**申込み・問い合わせ先：** 弘前大学「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」事務局  
被ばく医療総合研究所  
TEL：0172-39-5521  
FAX：0172-39-5514  
E-mail：jm5401@cc.hirosaki-u.ac.jp

**平成25年度弘前大学大学院保健学研究科  
博士前期課程・後期課程 大学院進学ガイダンス開催のお知らせ**

保健学研究科では、2014年1月25日（土）に博士前期課程及び博士後期課程の選抜試験を実施します。これに先立ち、大学院進学に関心をお持ちの方々を対象に、下記の日程で大学院進学ガイダンスを企画しましたので、ご案内いたします。

1. 日 時： 2013年11月29日（金）19：00～19：30（予定）

2. 場 所： 【弘前会場】弘前大学大学院保健学研究科4階 第19講義室  
【八戸会場】弘前大学八戸サテライト（八戸商工会館1階）  
※双方向遠隔授業システムを使用した、両会場での同時開催となります。

3. 内 容： （1）大学院概要説明  
（2）募集要項説明  
（3）質疑応答及び個別相談

4. 対 象： 本学大学院進学に関心をお持ちの方

5. 参加申込みについて：  
参加ご希望の方は、お名前、連絡先（電話番号）、進学をお考えの課程（博士前期課程・博士後期課程）、参加希望会場をご記入のうえ、FAXまたはE-mailにて、11月20日（水）までに下記問い合わせ先にお申し込みください。

**申込み・問い合わせ先：** 弘前大学保健学研究科学務グループ  
TEL：0172-29-5913  
FAX：0172-39-5912  
E-mail：jm5911@cc.hirosaki-u.ac.jp

## 「2013 BRAND FORUM IN AOMORI」開催のお知らせ（再掲）

このたび、文部科学省「地域イノベーション戦略支援プログラム」の採択を記念して、弘前・津軽エリアにおける「ヘルス&ビューティー産業クラスター」の創出に向けた地域力向上のために、世界のトップブランドである「シャネル（CHANEL）」の日本法人を率いる同社社長のリシャール・コラス氏を招き、「ブランド（Brand）」をテーマとした一大フォーラムを開催することといたしました。

この機会に、是非皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 2013年11月1日（金） 14：00～16：40（開場13：30）

2. 会 場： ホテルニューキャッスル弘前 3階 「麗峰の間」  
（弘前市上鞆師町24-1）

3. 内 容：

< 挨拶 > 14：00～14：15

青森県知事 三村 申吾  
弘前市長 葛西 憲之  
弘前大学長 佐藤 敬

< 特別講演 > 14：15～15：35

テーマ：「ブランドのつくり方（仮）」  
シャネル株式会社 代表取締役社長 リシャール・コラス 氏

< トークセッション > 15：50～16：40

テーマ：「『青森（弘前・津軽）ブランド』の創造に向けて（仮）」

PR：シャネル社長	リシャール・コラス 氏
東京大学名誉教授	松島 克守 氏
青森県知事	三村 申吾 氏
弘前市長	葛西 憲之 氏
弘前大学大学院医学研究科 教授	大山 力 氏
MD：日経BP社特命編集委員	宮田 満 氏

< ネットワーキングパーティ（交流会） > 17：15～19：00

（参加費 3,000円）

4. 対 象： 一般県民・企業・大学・研究機関・関係団体など 先着300名  
（事前申込が必要です。）

5. 参加費： 無 料  
（但し、交流会に参加される場合は、参加費3,000円がかかります。）

6. 主 催： 青森県・青森県プロテオグリカンブランド推進協議会・  
ライフイノベーションネットワーク青森（LINA）

弘前大学・弘前市・（地独）青森県産業技術センター・  
（公財）21あおり産業総合支援センター・  
弘前商工会議所・ひろさき産学官連携フォーラム ほか（予定）

後 援： 経済産業省・文部科学省・科学技術振興機構（JST）ほか（予定）

協 力： 青森銀行・みちのく銀行・フューチャーベンチャーキャピタル・  
青森県工業会（予定）

7. 申込み： 下記申込み先まで、以下の項目をメール等でお知らせください。
- 1) 会社名・団体名等
  - 2) 参加者の役職名
  - 3) 参加者の氏名
  - 4) 交流会の参加の有無
  - 5) 電話番号
  - 6) FAX番号
  - 7) E-mailアドレス

**申込み先：** 青森県商工労働部新産業創造課／医療・健康福祉産業創出G  
TEL：017-734-9420  
FAX：0172-39-3919  
E-mail:koichi\_murashita@pref.aomori.lg.jp  
URL：<http://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/shoko/salon.html>

**問い合わせ先：** 弘前大学研究推進部研究推進課産学連携推進グループ 櫻庭  
TEL：0172-39-3911  
FAX：0172-39-3919  
E-mail:sangaku@cc.hirosaki-u.ac.jp

#### 学術講演会開催のお知らせ（再掲）

1. 日 時： 2013年11月1日（金）17：00～18：00
2. 場 所： 理工学部2号館 10階 1005号室
3. 講演者： Vichian Laohakosol （タイ・カセットサート大学教授）  
題 目： タイにおける数学オリンピックコンテスト
4. 概 要： タイ数学オリンピック選手団のインストラクターや団長などを務めた Laohakosol 教授が、2013年にタイ国内で行われた予選問題を中心に、現状と課題も交えて講演する。優秀な正解者にはご褒美があるかも（！？）
5. 対 象： 学生、一般教職員など興味がある方ならどなたでも参加可能  
（事前申込は不要です）

**問い合わせ先：** 弘前大学大学院理工学研究科 小松尚夫  
E-mail:komatsu@cc.hirosaki-u.ac.jp

#### シンポジウム「裁判員裁判へのアクセス —より裁判員を務めやすい環境整備に向けて」 開催のお知らせ（再掲）

一般市民が裁判官とともに刑事事件に参加する裁判員裁判の実施から4年が経過しました。しか

し、裁判員に選ばれたら、家庭や仕事をどうすればよいか、裁判員の務めを果たせるのか、いまだに心配は尽きないように見受けられます。そこでこのシンポジウムでは、裁判員を経験した方などの話を聞き、裁判員はどのようなことをするのか、裁判員に選ばれたらどうしたらよいかを、知り、考える機会を持ちたいと思います。どうぞお気軽にご参加ください。

1. 日 時： 2013年11月3日（日・祝）14:00～17:00

2. 場 所： 弘前大学人文学部棟4階 多目的ホール  
（文京キャンパス内）

3. 対 象： 学内外問わずどなたでも歓迎（事前申込は不要です）

4. 内 容：

#### 第一部 報告と講演

飯 考行（弘前大学）  
「市民不在の裁判員裁判？」

田口真義（元裁判員・LJCC～裁判員経験者によるコミュニティ～事務局）  
「裁判員のあたまの中」

#### 第二部 パネルディスカッション

パネリスト： 田口真義、裁判員経験者など（予定）  
コーディネーター： 飯 考行

5. 主 催： 弘前大学人文学部  
教育学部・学生サークルteens & law

6. その他：

- ・ 入場無料です。また、裁判員経験者を募集中です。下記問い合わせ先までご連絡いただけますと助かります。
- ・ 本シンポジウムは、平成23～25年度科学研究費補助金挑戦的萌芽研究「市民・裁判員の視点から見た裁判員裁判の検証」の一環です。
- ・ 詳細については、下記URLをご参照ください。

<http://www.saibanhou.com/sympo2013c.html>

**問い合わせ先：** 弘前大学人文学部 飯考行（いい・たかゆき）  
TEL：0172-39-3958  
E-mail: iit@cc.hirosaki-u.ac.jp



### 第7回 弘大病院がん診療市民公開講座開催のお知らせ（再掲）

1. 日 時： 2013年11月9日（土）13:00～15:30

2. 会 場： ヒロロ4階 弘前市民文化交流館  
（弘前市大字駅前町9-20）

3. 内 容：弘前大学医学部附属病院の専門医による、移植を用いた小児がん治療と最近の放射線治療についてそれぞれの立場から、市民の皆様にはわかりやすく講演致します。講演後に質疑応答の時間を設けております。

4. プログラム：

- 演題1 「がん治療における最近の放射線治療の進歩」  
(60分程度)  
講師 弘前大学医学部附属病院放射線科教授  
高井 良尋
- 演題2 「造血幹細胞移植を用いた小児がんの治療」  
(60分程度)  
講師 弘前大学医学部附属病院小児科教授  
伊藤 悦朗
- 質疑応答 (20分程度)



4. 対 象： 一般市民（事前申込は不要です）

5. 入場料： 無 料

6. 主 催： 弘前大学医学部附属病院腫瘍センター

共 催： 次世代がん治療推進専門家養成プラン

後 援： 弘前市

**問い合わせ先：** 弘前大学医学部附属病院腫瘍センター がん診療相談支援室  
TEL：0172-39-5174

### 第15回「家庭でできる看護ケア教室」開催のお知らせ（再掲）

1. 日 時： 2013年10月31日（木）13:00～15:30（終了済）  
2013年11月14日（木）13:00～15:30

2. 場 所： 弘前大学医学部コミュニケーションセンター  
(駐車場はありません)

3. 対 象： 市民の方々（先着順で30名様）

4. 参加費： 無 料

5. プログラム：

第1回：10月31日（木）13:00～15:00  
(終了済) 「家庭でできる感染予防 ～自分・家族を守る方法～」  
「知って得するおむつのはなし  
～おむつの当て方のコツ、皮膚トラブルの対処まで～」



第2回：11月14日（木）13：00～15：30  
「健康的ないきいき生活のちょっとしたコツ  
～生活習慣見直しのきっかけになります！～」

※看護の専門領域で活躍するナースが講師となり、実際に即した方法をお伝え致します。  
※講義は1回のみ参加も可能です。申込時にお知らせください。  
※第2回目は、簡単な運動もありますので動きやすい服装でおいでください。

6. 申込み：席にまだ余裕がありますので、参加希望の方は下記問い合わせ先までご連絡ください。土曜日、日曜日、祝祭日を除く9：00～17：00にご連絡ください。

7. 主催：弘前大学医学部附属病院 看護部  
(この事業は、社団法人青森医学振興会の助成金で運営されております。)

申込み・問い合わせ先：弘前大学医学部附属病院地域連携室 福士明美  
TEL：0172-39-5337

### 弘前大学金木農場「農場祭」開催のお知らせ（再掲）

弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センターでは、地域の皆様との結びつきを深めるために「農場祭」を開催します。どうぞお気軽にご来場ください。

1. 日時：2013年11月16日（土） 9：30～15：00

2. 場所：弘前大学金木農場  
(五所川原市金木町芦野84-133)

3. 催し物：

○農場生産物販売コーナー（9：30～）

金木農場と藤崎農場で丹精込めて作ったものです。是非、お買い求めください。

金木農場産・・・新米（つがるロマン、まっしぐら、もち米）、弘大アップルビーフ、羊肉

藤崎農場産・・・りんご、ねぎ

(何れも数に限りがございますので、売り切れの場合はご了承ください)

○販売（9：30～順次）

弘大生協コーナー・・・金木農場産酒米を使用した日本酒「弘前大学」など。  
お食事コーナー、弘大グッズ等

○その他出店（9：30～順次）

金木町斜陽の詩・稲垣町「おかずや」（お惣菜など）etc.

○展示（終日）

藤崎農場・金木農場の教職員による研究・展示  
(紅の夢、無農薬りんご、アップルビーフ、牧草など)



**問い合わせ先：** 弘前大学農学生命科学部  
附属生物共生教育研究センター 金木農場  
TEL：0173-53-2029  
FAX：0173-53-5137  
E-mail: jm532029@cc.hirosaki-u.ac.jp

**電子情報通信学会東北支部 学術講演会  
次世代型IT基盤技術開発センター講演会 開催のお知らせ（再掲）**

1. 日時：2013年11月18日（月）13:00～14:00
2. 場所：弘前大学創立50周年記念会館 みちのくホール
3. 対象：どなたでもご参加いただけます（事前予約不要です）。  
教職員、学生、その他一般の方のご参加をお待ちしております。
4. 概要：ロボットが人間と経験を共有して日常的な言語コミュニケーションをするためには、ロボットが、感覚・運動系などの認知機能との関連性を含めた総体としての言語システムを、いかに構成、利用するかが課題である。本講演では、ロボットが発話や身体的な行動によるユーザとの共同行為を通して、物体概念と動作を含む総体としての言語システムをボトムアップに学習し、マルチモーダル言語コミュニケーションを実現する、従来とはまったく異なるヒューマン・ロボット・コミュニケーション技術のアプローチ—発達のアプローチ—について述べる。
5. 講演題目：「マルチモーダル言語コミュニケーションを学習するロボット」
6. 講師：京都大学大学院情報学研究科 知能情報学専攻 研究員 岩橋 直人 氏
7. 受講料：無 料

**問い合わせ先：** 弘前大学大学院理工学研究科 岡本 浩  
TEL：0172-39-3636  
E-mail: okamoto@eit.hirosaki-u.ac.jp

**高分子学会東北支部会員増強対策講演会  
—新しいフッ素系機能性材料の展開— 開催のお知らせ（再掲）**

1. 日時：2013年12月2日（月）10:00～12:00
2. 場所：弘前大学大学院理工学研究科1号館 2階 大会議室
3. 対象：本学学部学生・大学院生及び社会人一般の方（事前申込不要）
4. プログラム：

10:00～11:00 「フッ素エラストマーの実際」  
ダイキン工業株式会社 角野 栄作 氏

11:00～12:00 「フルオロアルキル基を有するhead-to-head型スチレンダイマー類の選択的合成とその性質」  
島根大学医学部 教授 吉田 正人 氏

5. 参加費： 無 料

**問い合わせ先：** 弘前大学大学院理工学研究科 澤田 英夫  
TEL：0172-39-3947  
E-mail:hideosaw@cc.hirosaki-u.ac.jp

**弘前大学資料館企画展  
「白神標本保存百年プロジェクト～標本が語りだす～」 開催のお知らせ（再掲）**

弘前大学資料館では9月16日の豪雨による災害の影響により臨時休館をしておりましたが、このたび10月21日（月）に再開館いたしました。

再開館の同時企画として、「白神標本保存百年プロジェクト～標本が語りだす～」と題した企画展を開催しております。白神山地が世界自然遺産に登録されて今年で20年になります。今回の展示では、白神山地の多様な動植物を示しながら、動植物の標本を収集、保存することの意義、標本から分かること、標本を用いた研究例などを紹介するこの白神山地の多様な動植物を示しながら、動植物の標本を収集、保存することの意義、標本から分かること、標本を用いた研究例などを紹介いたします。

みなさまのご来館をお待ちしております。

1. 日 時： 2013年10月21日（木）～12月20日（木）  
10:00～16:00  
（土・日・祝・休日は休館です）
2. 場 所： 弘前大学資料館 企画展示室
3. テーマ： 「白神標本保存百年プロジェクト～標本が語りだす～」

**問い合わせ先：** 弘前大学白神自然環境研究所 准教授 中村剛之  
TEL：0172-39-3707  
E-mail: dhalma@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学資料館  
TEL：0172-39-3432  
E-mail: jm3432@cc.hirosaki-u.ac.jp



**文部科学省「情報ひろば」にて  
弘前大学「被ばく医療」の取組に関する企画展示のお知らせ（再掲）**

弘前大学は、文部科学省 情報ひろば「旧秘書官室」において、『「被ばく医療」の取組』について、一般の方々に分かりやすく紹介するための企画展示を行うことになりました。

これまで本学が取り組んできた被ばく医療人材育成や東日本大震災後に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故での福島県への支援等について、パネル等で紹介いたします。

1. 展示期間等： 2013年8月1日（木）～11月末（予定）  
月曜から金曜の10:00～18:00 ※土曜・日曜・祝日は休館日です。
2. 展示場所： 旧文部科学省庁舎3階 情報ひろば「旧秘書官室」  
(東京都千代田区霞が関3-2-2)
3. 展示概要：

本学では、緊急時の危機管理対策の一環として、以前から被ばく医療に即応可能な体制の整備に取り組んでおり、これまでに、医学部、大学院保健学研究科、被ばく医療総合研究所等において被ばく医療の教育、研究を通して、被ばく医療を担える人材の育成を図ってきたほか、医学部附属病院高度救命救急センターでは、被ばく患者を受入、治療を行える体制を整えてきました。

東日本大震災後に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故により、大量の放射性物質が大気中に放出され、環境等への影響を及ぼすようになったことから、放射線に関する基礎知識を多くの方々に理解していただくとともに、本学がこれまで取り組んできた被ばく医療に関連する人材育成や福島県への支援等について紹介します。

#### 【主な展示物】

##### ○パネル展示

- ・放射線の基礎知識
- ・被ばく医療の人材育成
- ・福島県への支援
- ・活動成果の学術的情報発信 など

##### ○実物展示

- ・霧箱（放射線の飛跡を観測することができる装置です。）  
※霧箱実物を展示しますが、放射線の観測は、事前に撮影した映像をモニターで紹介  
します。
- ・放射線測定器  
※日常生活で身のまわりにある「乾燥コンブ」等の放射線測定器「ベータちゃん」で  
測定できます。

**問い合わせ先：** 弘前大学総務部広報・国際課  
TEL：0172-39-3012  
E-mail: jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp

## 学 内 掲 示 板

### 弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

**問い合わせ先：** 弘前大学出版会（附属図書館内）  
TEL：0172-39-3168  
FAX：0172-39-3171  
E-mail: hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp

## 国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」を作成しています。

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<http://www.janu.jp/report/infomation.html>

第28号・第25号・第23号・第22号において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から) 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日(毎月1日と16日の2回)の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当: 総務部広報・国際課広報・国際グループ

E-mail: [jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp) FAX:39-3498、内線:3029